

## 台湾における東亜同文書院関係の 収蔵資料調査について

豊橋図書館職員  
(愛知大学東亜同文書院大学記念センター/  
オープン・リサーチ・センター 運営委員)

成瀬さよ子

これまでに2回、2006年と2007年春に台湾に収蔵している東亜同文書院関係の資料調査に出かける機会を得た。参加者は愛知大学東亜同文書院大学記念センター/オープン・リサーチ・センター長の藤田佳久教授、若い研究員の武井義和さん、石田卓生さんらと同行した。目的は本学に収蔵していない資料を確認し、可能ならば全文コピーにて補填したいと考えていた。かねてより私は図書館業務の傍ら、東亜同文書院に関する資料の購入(古本)に努めてきたが、未だ入手できない資料は多くあったので、コピーにて補填することは意味のある事と思っていた。

私は事前に国立台湾大学・国立台湾図書館・中央研究院のOPACを調査して、本学に収蔵していない資料の一覧を持参して行った。国立台湾図書館のOPACの中には、配架先として一部中央研究院の収蔵資料も含まれていた。

### [ I ]

国立台湾大学図書館 1928年創立  
(旧名：台北帝国大学)



国立台湾大学 広々した構内にまず圧倒されてしまった。

#### ① 廣東語声音字彙／東亜同文書院支那研究部編 [昭和2年]

この資料は日本国内ではどこにも見つけられず、貴重な発見であったが、残念ながら途中までの112ページまでしかなかった。台北帝国大学図書印があり、414581の番号と、受け入れ年月日は、昭和15年3月30日の記載があった。東亜同文書院支那研究部編となっていたが、前書きには、『本字彙ハ本院卒業生木村左近氏ノ



研究ニ成リシモノヲ輯録印刷セルモノナリ』の記載あり。奥付けも裏表紙も無くなっていたため、出版年など確認できなかった。

② 中華民国大地図及満州国図索引／東亜同文会  
調査編纂部著 東京：富山房 [出版年不明]

台湾大学には、索引しか収蔵していなかったが、上記と同様台北帝国大学図書印があり、1963109の番号と、昭和10年6月15日の記載があった。国内に本体を収蔵している大学があるので、今後確認をする必要がある。また根岸侘撰及び昭和7年秋10月との記載あり。

③ その他

台湾大学ではオリジナルの『支那省別全誌』全18巻は、開架室に配架されていて誰でも読め、所謂台湾で複製した版の『中国省別全誌』、『中国経済全書』が、密集書庫に収蔵されているのが面白かった。開架室は、日文コーナーが設けられていて、分かりやすく良かった。



国立台湾大学図書館

[II]

国立台湾図書館 1915年創立  
(旧名：国立中央図書館台湾分館)  
(台湾総督府図書館)

あらかじめ黄英哲先生の書かれた『記憶する台湾：帝国との相克』(東京大学出版会 2005)の「序



国立台湾図書館

章『帝国』蔵書の記憶：田中長三郎、山中樵、楊雲萍をめぐって」(p. 9-27)をよみ、台湾の植民地時代からの蔵書の知識を得て参加する事が出来て良かった。

なんとと言っても今回台湾調査の最大の目的は、国立台湾図書館所蔵の『支那各地調査報告書』の原本を閲覧する事であった。

① 支那各地調査報告書 稿本295冊

この資料は、東亜同文書院生が最上級生になった時、グループごとに中国大陸のみならず、北はシベリア・蒙古方面、南はベトナム・インド方面までそのルートは、700コースに及び、2ヶ月以上をかけて踏査した記録を卒業論文として提出した手書きの原稿である。

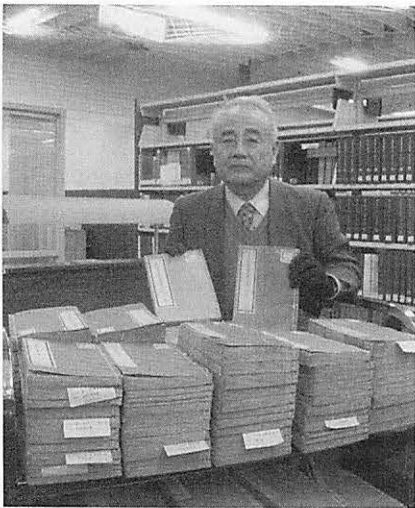
本学には『支那調査報告書』として第十三期生から第三十二期生までを収蔵している。台湾収蔵のこの『調査報告書』は、第1回～第6回となっており、調査旅行が本格化した第五期生～第十期生に当たり、本学には欠けている部分であった。

1999年に豊橋図書館では、旧名称の「国立中央図書館台湾分館」よりマイクロフィルムにて購入していた(164リール 2,306,000円にて購入)。国立台湾図書館では、一度に295冊全ての資料を閲覧することができ感激した。1冊1冊を手にとって調査する十分な時間が無かったが、購入したマイクロフィルムの構成は、各期

生ごとではなく地域別に編集されていたので、手を加えられたものと前任者から聞いていた。従って原本の表紙なども地域別に修正されたものと想像していたが、現物を確認して誤解であることが判明した。原本に手は加えられていなかった。

『調査報告書』の標題紙に、台湾総督府外事部の印、及び台湾省立台北図書館蔵書章の朱印が押されていた。

上海の東亜同文書院から、紆余曲折を経て台湾に渡ったであろうこれらの原本を、今愛知大学東亜同文書院大学記念センター一行が手にしていると思った時、実に感慨深い思いに耽った。



『支那各地調査報告書』の閲覧

## ② 中国各省地図／東亜同文会

現物を確認したら、『支那省別全誌』全18巻の巻末についている地図を、まとめて1冊にファイルしたものであることが判明した。従ってこのタイトルで出版されたものではなかった。

## ③ 台湾に於ける大家族：特にその分散事情／大谷 幸太郎 東亜同文書院支那研究部

昭和3年7月

内容を確認すると単独の出版ではなく、雑誌『支那研究』17号の別冊付録であった。別冊は収蔵がなかったかもしれないと思い、コピーを依

頼するとデジカメで撮っても良いとの許可を得た。ただし全ページの場合複製を納品させてもらうとの事で、了解を求められた。折角なので自分のデジカメで撮ってみたが、簡単な操作でカメラを固定でき均一に複製できた。費用は無料であった。

後日デジタル資料として利用したいと考えている。

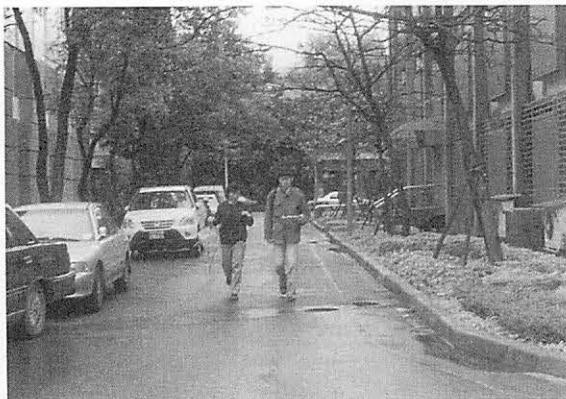
そのほか『上海共同租界法概観』他何点かの資料が国立台湾図書館のOPACで検索できたが、配架場所が中央研究院収蔵資料で電車で1時間ほど行った離れた場所であったため、日程上訪問できずに次回の調査とした。

2泊3日のハードなスケジュールであった。台湾の図書館やホテルの人達は皆さん親切な対応であった。気候は雨期で3日も雨に降られた。肌寒くコートが常に必要で変わりやすい天候だった。台湾総督府は昔のまま修復保存されており、また国立台湾博物館では歴史的に果たした日本の役割をきちんと評価していると感じられた。館内の映画では、陸軍中将児玉源太郎や後藤新平によって、このすばらしい建築物（博物館）が作られたと放映されていたのが嬉しかった。

## [III]

### 中央研究院 1928年創立

2回目の訪問は、中央研究院のOPACを検索したところ非常に多くの資料が発見されたために当研究院のみに絞った。しかしながら、「中央研究院」は、43もの建物が点在していて、夫々の研究所ごとに図書館を持っているため、「近代史研究所郭廷以図書館」「歴史語言研究所傅斯年図書館」「近代史所档案館」「臺灣史研究所」など迷いながらあちこちの図書館に出かけることになった。



中央研究院

開館時間は、殆どの図書館が午前9時～午後5時までであった。

### 〈近代史研究所档案館〉

最初に近代史研究所档案館を訪問した。ここは一枚ものの資料を収蔵した図書館であるが、全て電子化されていて、係の方に見たい資料を伝えると、その資料を閲覧のパソコンに送信してくれて、必要部分を全てコピーできた。

- ①両江総督請発南京同文書院日本学生遊歴護照
- ②東亜同文會在津建築中学請免税所用材料事得難照准由
- ③保和会資料：東亜同文會則など

### 〈台湾史研究所図書館〉

最も多く東亜同文書院関係の資料を収蔵している台湾史研究所は、全て大陸から運んできた資料であるとのことであった。資料閲覧には若干時間を要したが、当方に見たい資料は殆ど閲覧することが出来た。そして全文コピー（1冊を2名で半分ずつ申込み）を申請すると、大量なので時間がかかり翌日渡してくれることになった。

- ①曲阜紀行聖蹟／山田謙吉 東亜同文書院研究部 1922
- ②支那ノ外交・財政／三枝茂智 東亜同文會調査編纂部 1921
- ③排貨事情調査報告／東亜同文會 1915
- ④東部蒙古／ポストネエフ著 東亜同文會調査

### 編纂部 1915

- ⑤衛生新編／岸田吟香著 楽善堂 1893
- ⑥東亜同文書院一覽 大正8年(1919) 東亜同文書院より寄贈 出版者・出版年不明

①～⑤までは、愛知大学には異版など全く収蔵されていないため全頁複写を依頼した。また⑥は、本学の資料は、1911年の出版で198ページであったが、台湾史研究所図書館の収蔵資料は242ページであったため複写依頼をした。

- ⑦支那經濟地理誌／馬場欽太郎 6版 禹域学会 1928
- ⑧支那關係特種条約彙纂／東亜同文會調査編纂増補再版 1922
- ⑨支那重要商品誌／馬場欽太郎 第3版 禹域学会 1926

※禹域学会は、東亜同文書院内に置かれていた。

- ⑩東亜同文書院紀要 19--
- ⑪清国通商綜覧／日清貿易研究所 第1編 天と地 1892

⑫雑誌『支那』欠号部分18(12)、25(3)

⑬日俄時局輯録／日本東亜同文會輯 1904

⑦～⑩は、本学では異版を収蔵していたので、それを確認するに留めた。これらを全文コピーするにはあまりにも時間が無かった。

⑪は、愛知大学には第1編の天・地が2冊とも所蔵不明で、これまでも古書で調査していたが全く入手できなかった資料であった。ぜひ愛知大学の資料としてほしいと思ったが、残念ながら分厚い製本で、のどの部分が浅いため複写しても文字が出ないためコピーは断念した。

⑫は欠号であると思っていたが、出版されなかったことが判明した。

⑬については、善本室収蔵資料（手袋・マスク着用の資料）で国内に全く見当たらない貴重な資料であった為、是非コピーがほしいと思い申し出たが、コピーするには複写申込後2週間必要でさらにコピーを取りに行く必要があるとのこと。また残念ながら複写物を日本まで送るサービスはし

ていないとのことで諦めた。

#### 〈近代史研究所郭廷以図書館〉

ここでは自由に館内の資料を閲覧できたため、自分で資料を探した。以下4点の資料を調査した。複写については、コピーカード2枚購入して（1枚100円で100枚取れる）自分達で複写した。

⑭支那各地民情論（未定稿）/小竹文夫著

⑮支那文献論解説 / 山田謙吉 禹域学会 1935

⑭と⑮は全頁を複写した。

⑯支那水運論附満洲国水運 / 馬場欽太郎 東亜同文書院支那研究部1938

本学収蔵資料（1936年）と出版年が異っていたので異版かと思われたが、重版で同じ物であることが判明した。

⑰東亜関係特殊条約匯纂 / 東亜同文会編纂 再増補 4版 1912 総1605ページ

本学に収蔵している資料は、1904年の総882ページのもので、4版は倍近いページ数であったが、コピーする時間が無く断念した。

今回2回目ということで自分に余裕が出来たため、事前に中央研究院の林明德先生に手紙を出して当方のスケジュールに合えばお会いしたい旨お伝えしておいた。林明德先生は『支那省別全誌』、『支那経済全書』の復刻版を台湾で出版した折に序文を書かれた方だった。先方からお返事をいただく時間もない状況の中であったが、近代史研究所の中で全く偶然に出会うことが出来た。エレベータの前で私たちが話している横をコーヒーカップ片手に細面の林先生が通りがかり、私を見て「成瀬さん？」って声をかけてくれたのである。林明德先生から、日本関係の次世代の研究者として黄自進先生、張啓雄先生を紹介していただくことができた。

また愛知大学現代中国学部教授の黄英哲先生の紹介で、黄福慶先生にお話を聞くことが出来た。黄福慶先生は、私たち全員を研究室に招いてくだ

さり、ご自分の若い時の研究テーマが「東亜同文会・同文書院」であり、『清末留日学生』（中央研究院近代史研究所専刊34）を既に1975年に発表されていた。この著作物は、留学中に日比谷図書館の実藤恵秀文庫を利用して書いたとの事。1982年には、『近代日本在華文化及社会事業之研究』を単行本として出版したが、愛知大学の東亜同文会の資料を見ずに論文を書かれたことを一番悔やまれたと述べられた。しかしながら当時は今のように簡単に資料を入手できない状況であったと述べられた。藤田佳久先生は、書院のパイオニアは黄福慶先生であると絶賛された。

黄先生からは、自著『近代日本在華文化及社会事業之研究』と『同仁著作目録』（中央研究院近代史研究所）、『中央研究院近代史研究所 出版品総目』を全員が頂戴してきた。しかも黄先生のサイン入りである。黄先生の現在の関心は、満鉄関係に移行したと言われたが、書院に関する若い研究者を何人も挙げられ次世代に受け継がれていることを強調された。



藤田教授と黄福慶先生

林明德先生や黄福慶先生は既にリタイヤされていたが、なんと研究員の方々は、80歳まで個人研究室や資料費など保障されていて、大変研究活動には恵まれているとのことであった。

最終訪問日に、中央研究院には国立台湾図書館収蔵の『支那各地調査報告書』とは別に東亜同文会の各地調査報告書（手書き資料）を収蔵してい

ることが判った。年代が1898年-となっているので、書院が創立される以前の資料となる。東亜同文会が書いた資料か？ 図書館の閉館間際だったため残念ながら資料確認をすることが出来なかったが、中央研究院には、他にもまだまだ資料を発掘できる可能性があると思信できた。可能なら2週間ほど滞在して今回入手出来なかった貴重資料など入手してきたいと思った。

今回の台湾訪問は資料調査だけでなく、台北在住の滬友会（書院生の同窓会）の方ともお話が出来ればと思事前東京の滬友会に連絡を入れた。台北在住の2名の方を紹介して下さった。台湾到着の夜6時にホテルまで迎えに来て下さったのが、第35期生の簡崑田さんと第44期生の耿嘉賢さんのお二人であった。誘われるままタクシーで新光三越の天母店に向かった。

夕食会場には、他にご主人が第44期生林大偉さんの未亡人張梅香さん、簡さんの娘さん（薬剤師）とお孫さん（政府機関に勤務）も待っていて下さり、台湾の資料調査に別の意義が付加された。簡さん、耿さん、林さん皆さんご高齢にもか

かわらずしっかりしておられて、しかも未だに何の不自由なく日本語を話されることに驚かされた。既に90歳にならんとする簡さんのお話は、当時台湾では総督府が書院の学費を出してくれなかったもので、皆私費生であったこと。書院の精神は愛の精神であると小竹文夫先生に教えられたこと。就職は、東亜同文書院出身だからの理由で三井物産に入社でき、初任給は本俸55円であった。当時東大出身者は60円であった。しかしながら簡さんは上海支店に就職したため、海外手当が200円加算され随分優遇されたとお話など大変興味深い内容であった。

藤田先生は、次回にぜひ簡さんに愛知大学で講演をしていただきたいと述べられた。簡さんは、息子が東京で医者をしているのでよく東京には行きますと述べられた。直ぐにでも実現しそうな会話で、今から簡さんが愛知大学を訪問される日が待ち遠しく思われる。

貴重なお話を聞かせていただいた上に、簡さんには一同夕食をご馳走になったのでここに改めて謝意を表しておきたい。



35期生の簡さん、44期生耿さん、林さんらと共に

東亜同文書院関係 台湾収蔵資料一覧

No.	書名	巻号	著者	シリーズ名	出版年	所 蔵 館			
						台湾大学	国立台湾 図書館	中央研究 院	愛知大学 院
1	支那調査報告書	2: 5-9, 11-13, 17-18, 19-24	東亜同文会支那 経済調査部		1889-			○	
2	清国通商綜覧	第1編 天・地 第2編	日清貿易研究所		1892			○	2編○
3	衛生新編		岸田吟香		1893			○	
4	香港廣東駐在隊調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第1期	19--		○		
5	粵漢線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第1期	19--		○		
6	浙閩粵線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第1期	19--		○		
7	京漢線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第1期	19--		○		
8	漢口駐在隊調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第1期	19--		○		
9	浙贛湘線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第1期	19--		○		
10	天津駐在隊調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第1期	19--		○		
11	上海駐在班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第1期	19--		○		
12	膠濟線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第1期	19--		○		
13	淮衛河線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第1期	19--		○		
14	芝罘駐在班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第1期	19--		○		
15	陝西河南線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第1期	19--		○		
16	營口駐在班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第1期	19--		○		
17	北京駐在隊調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第1期	19--		○		
18	河南湖廣線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第2期	19--		○		
19	遼東沿岸線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第2期	19--		○		
20	晋豫線旅行隊調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第2期	19--		○		
21	晋蒙線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第2期	19--		○		
22	口外喇嘛廟熱河線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第2期	19--		○		
23	津浦線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第2期	19--		○		
24	北京駐在班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第2期	19--		○		
25	鄂蜀線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第2期	19--		○		
26	贛粵線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第2期	19--		○		
27	楚粵線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第2期	19--		○		

No.	書名	巻号	著者	シリーズ名	出版年	所 蔵 館			
						台湾大学	国立台湾 図書館	中央研究 院	愛知大学 院
28	沅貴線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第2期	19--		○		
29	長江線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第2期	19--		○		
30	上海駐在班線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第2期	19--		○		
31	汙口厦門線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第3期	19--		○		
32	西鄂巴蜀線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第3期	19--		○		
33	皖南贛閩線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第3期	19--		○		
34	皖北鄂豫線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第3期	19--		○		
35	兩江線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第3期	19--		○		
36	晋燕線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第3期	19--		○		
37	秦晋線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第3期	19--		○		
38	北京駐在隊調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第3期	19--		○		
39	北滿駐在隊調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第3期	19--		○		
40	桂黔線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第3期	19--		○		
41	関内外蒙古線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第3期	19--		○		
42	鎮南百色線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第3期	19--		○		
43	海南粵西線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第3期	19--		○		
44	三江線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第3期	19--		○		
45	雲南四川線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第4期	19--		○		
46	甘肅鄂爾多斯旅行隊調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第4期	19--		○		
47	湘鄂線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第4期	19--		○		
48	贛粵線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第4期	19--		○		
49	上海駐在隊調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第4期	19--		○		
50	山東線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第4期	19--		○		
51	海開線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第4期	19--		○		
52	燕晋線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第4期	19--		○		
53	錦斉線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第4期	19--		○		
54	上海駐在隊調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第5期	19--		○		



No.	書名	巻号	著者	シリーズ名	出版年	所蔵館			
						台湾大学	国立台湾 図書館	中央研究 院	愛知大学 学院
55	江蘇山東線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第5期	19--		○		
56	天津循環線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第5期	19--		○		
57	北京駐在隊調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第5期	19--		○		
58	満州大豆調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第5期	19--		○		
59	湖廣循環線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第5期	19--		○		
60	湖南四川線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第5期	19--		○		
61	汕頭廣州湾調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第5期	19--		○		
62	江陰厦門線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第5期	19--		○		
63	寧波厦門線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第5期	19--		○		
64	鎮江寧波線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第5期	19--		○		
65	江甯武昌線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第5期	19--		○		
66	清化鎮漢中線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第5期	19--		○		
67	江浙班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第6期	19--		○		
68	江蘇安徽班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第6期	19--		○		
69	通州濟南班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第6期	19--		○		
70	上海駐在班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第6期	19--		○		
71	南京天津班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第6期	19--		○		
72	青島秦皇島班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第6期	19--		○		
73	北京駐在班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第6期	19--		○		
74	九龍北海班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第6期	19--		○		
75	香港北海班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第6期	19--		○		
76	厦門香港班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第6期	19--		○		
77	福建循環班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第6期	19--		○		
78	寧波厦門班調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第6期	19--		○		
79	杭州九江線調査報告書		東亜同文会	支那各地調査報告書 第6期	19--		○		
80	支那各地調査報告	マイクロ、複 写版	東亜同文会	支那各地調査報告書 第1期 - 第6期 295冊	19--		○		
81	東亜同文書院紀要		東亜同文書院		19--			○	1923○

No.	書名	巻号	著者	シリーズ名	出版年	所 蔵 館			
						台湾大学	国立台湾 図書館	中央研究 院	愛知大学
82	大清律		東亜同文会		1904			○	○
83	東亜関係特種条約彙纂		東亜同文会		1904			○	○
84	日俄時局輯録		東亜同文会		1904			○	
85	清国塩政考		東亜同文会 成 田與作		1905			○	○
86	清国商業綜覧	全5巻	根岸信		1906 -1908			○	○
87	支那経済全書	全12巻	東亜同文会		1907-	○		○	○
88	蒙古及蒙古人		ポストネーフ原 著、東亜同文会 編纂局		1908	○	○	○	○
89	東亜同文会支那調査報 告書				1910		○	○	○
90	支那年鑑		東亜同文会調査 編纂部		1911		○		○
91	支那年鑑	全4回	東亜同文会調査 編纂部		1912			○	○
92	宣統三年中国年鑑		東亜同文会調査 編纂部		1912		○		
93	東亜関係特種条約彙纂	4版	東亜同文会		1912			○	
94	孤帆雙蹄		東亜同文書院第 9期生		1912			○	○
95	樂此行		東亜同文書院第 10期生		1913			○	○
96	学生大旅行調査報告書 目録及地方別索引		東亜同文書院支 那研究部		1914			○	
97	山東及膠州湾		東亜同文会		1914			○	○
98	東部蒙古		ポストネーフ		1915			○	
99	排貨事情調査報告		東亜同文会		1915			○	
100	支那重要法令集		東亜同文会調査 編纂部		1915			○	
101	最近支那貿易		東亜同文会		1916			○	○
102	支那省別全誌	全18巻	東亜同文会編纂		1917-	○	○	○	○
103	支那之工業	3版	東亜同文会		1917			○	○
104	特種条約彙纂		東亜同文会編纂 部		1917			○	
105	支那関係特種条約彙纂		東亜同文会調査 編纂部		1917			○	○
106	欧米人の支那観		東亜同文会調査 編纂部		1918			○	○
107	支那年鑑	第三回	東亜同文会調査 編纂部		1918		○		○
108	支那時文類編		青木喬		1918		○		
109	東亜同文書院一覽				1919			○	1911○
110	支那金融機関		東亜同文会調査 編纂部		1919			○	○
111	支那研究	28冊 1號(大 正9年8月) - 62號(昭和17 年3月)	東亜同文書院支 那研究部		1920-		○		○
112	支那研究	マイクロ	東亜同文書院支 那研究部					○	○
113	支那年鑑		東亜同文会		1920	○	○		○

No.	書名	巻号	著者	シリーズ名	出版年	所蔵館			
						台湾大学	国立台湾 図書館	中央研究 院	愛知大学 院
114	改版支那貿易		東亜同文会調査 編纂部		1920		○	○	○
115	中国各省地図	6枚	東亜同文会	『支那省別全誌』の 付録をまとめた物	1920		○		--
116	支那之外交、財政		三枝茂智		1921			○	
117	根津院長選暦祝賀紀念 誌		上海東亜同文書 院		1921			○	○
118	増補支那関係特種条約 彙纂		東亜同文会調査 編纂部		1922		○		
119	曲阜紀行聖蹟		山田謙吉		1922			○	
120	増加東亜同文書院図書 目録	全2巻	東亜同文書院図 書館編		1923			○	○
121	支那貨幣に就きて		上海東亜同文書 院研究部		1924	○			○
122	支那開港場誌	全2巻	東亜同文会調査 編纂部		1924			○	○
123	現代支那人名鑑		外務省情報部		1925			○	○
124	支那重要商品誌		馬場鞆太郎		1926		○		4版○
125	廣東語聲音字彙		東亜同文書院支 那研究部		1927	○			
126	黄塵行		東亜同文書院第 23期生		1927		○		○
127	新篇支那年鑑		東亜同文会調査 編纂部		1927	○		○	○
128	台湾に於ける大家族： 特にその分散事情	支那研究17号 の別冊	大谷孝太郎		1928		○		○
129	支那經濟地理誌		馬場鞆太郎		1928			○	1925○
130	支那（雑誌）	[vol. 3-34]						○	○
131	中華民國國民政府主要 法令並条約集	昭和4年版	東亜同文会調査 編纂部		1929	○	○	○	○
132	上海共同租界法概観		古川邦彦		1929			○	
133	亜富汗斯坦		田鍋安之助		1930		○		○
134	支那論		井上雅二		1930		○		○
135	創立三十周年記念東亜 同文書院誌	支那研究22号	東亜同文書院		1930		○		○
136	山洲根津先生伝		東亜同文書院瀝 友同窓会		1930		○		○
137	支那工業総覧		東亜同文会調査 編纂部		1931		○		1930○
138	中華民國大地図及滿州 国図+索引	1枚	東亜同文会調査 編纂部		1932	索引○		○	
139	中華民國実業名鑑		天海謙三郎		1934		○	○	○
140	亜細亜の礎		東亜同文書院 第30期生		1934			○	○
141	支那現代人精神構造の 研究		大谷孝太郎		1935		○		○
142	支那經濟の地理的背景		馬場鞆太郎		1936		○		○
143	中国物産ニ関スル資料 目録		東亜同文書院物 産館		1936	○			○
144	対支回顧録	全2巻	東亜同文会 対 支功勞者伝記編 纂会		1936			○	○

No.	書名	巻号	著者	シリーズ名	出版年	所 蔵 館			
						台湾大学	国立台湾 図書館	中央研究 院	愛知大学 院
145	現代中華民国満州帝国 人名鑑		外務省情報部		1937		○		1939○
146	蘇州方言に就いて		坂本一郎		1937		○		○
147	新支那現勢要覽	昭和13年度、 15年度	東亜同文会業務 部		1938-40	○		○	○
148	現代支那講座	全6講	東亜同文書院支 那研究部		1939	○	○		○
149	日本語の教へ方		阿部正直		1939		○		
150	[東亜同文書院瀨友同 窓会] 会員名簿		東亜同文書院瀨 友同窓会		1940		○		1937○
151	最近支那共産党史		中保興作		1940		○		○
152	日滿支の通貨・物価の 問題		根津知好	新支那事情普及叢書 14	1940		○		○
153	統対支回顧録		東亜同文会 対 支功労者伝記編 纂会		1941-			○	○
154	東亜同文書院大学東亜 調査報告書	昭和15・16年 度	上海東亜同文書 院大学		1941-42			○	○
155	新修支那省別全誌	1-9	東亜同文会支那 省別全誌刊行会		1941		6冊○	5欠○	○
156	欧米の対支経済侵略史		井村薫雄		1941		○		○
157	新支那年鑑				1942		○		○
158	統対支回顧録		東亜同文会		1942			○	○
159	東亜調査報告書		小竹文夫		1942		○		
160	東亜研究(雑誌)	no. 64-67	東亜同文書院大 学研究部		1942			○	○
161	研究旅行報告輯	支那研究臨時 号	東亜同文書院大 学東亜研究部		1942			○	○
162	支那開港場誌		東亜同文会調査 編纂部		1943			○	1922-24 ○
163	概説大東亜史		有高巖		1943		○		
164	東亜同文書院大学史		瀨友会		1955			○	○
165	対支回顧録	全2巻 S11 の複製	東亜同文会	明治百年史叢書 第69巻70巻	1968			○	○
166	宣統三年中国年鑑	1912年の再版 影印	東亜同文会調査 編纂部		1973			○	
167	民国六年中国年鑑	復刻	東亜同文会調査 編纂部		1975			○	
168	民国八年中国年鑑	復刻	東亜同文会調査 編纂部		1975			○	
169	民国十二年中国年鑑	復刻	東亜同文会調査 編纂部		[1975]			○	
170	民国十五年中国年鑑	復刻	東亜同文会調査 編纂部		1975			○	
171	東亜同文書院生		山本隆		1978		○		○
172	対支回顧録		東亜同文会編		1981	○	○		
173	中国分省地図	1918年-1944 年	凌雲書房編集部 編		1981		○		○
174	東亜同文書院大学史		大学史編纂委員 会編		1982		○		○
175	朝、上海に立ちつくす		大城立裕		1983	○			○
176	東亜同文会史		霞山会		1988	○			○

No.	書名	巻号	著者	シリーズ名	出版年	所 蔵 館			
						台湾大学	国立台湾 図書館	中央研究 院	愛知大学 学院
177	中国省別全誌	全18巻 影印 版	東亜同文会編纂		1988	○	○	○	○
178	中国経済全書	全12巻 影印 版 南天書局	東亜同文会		1989	○	○	○	○
179	上海東亜同文書院大旅 行記録		滬友会		1991			○	○
180	東亜同文書院大運河調 査報告書		谷光隆		1992	○		○	○
181	東亜同文書院大学と愛 知大学	全4集	愛知大学東亜同 文書院大学記念 センター		1993			○	○
182	上海東亜同文書院：日 中を架けんとした男た ち		栗田尚弥		1993			○	○
183	中国との出会い		藤田佳久	東亜同文書院・中国 調査旅行記録第1巻	1994	○		○	○
184	中国を歩く		藤田佳久	東亜同文書院・中国 調査旅行記録第2巻	1994			○	○
185	同文書院記念報	NO. 1, NO. 3	愛知大学東亜同 文書院大学記念 センター	NO1, NO3	1994			○	○
186	東亜同文書院中国調査 旅行報告書	マイクロ132リ ール (雄松堂出版)			1996			○	○
187	華語月刊	第32号 復刻 版	東亜同文書院華 語研究会		1997			○	
188	東亜同文書院中国調 査旅行報告書総目次		藤田佳久解説		1997			○	○
189	東亜同文会史論考		鶴山会編		1998			○	○
190	中国を越えて		藤田佳久	東亜同文書院・中国 調査旅行記録第3巻	1998			○	○
191	東亜同文会報告(1) (2)(3):東亜時論	復刻版(龍溪 書舎)	東亜同文會		1999- 2002	○			
192	上海東亜同文書院大旅 行記録		滬友会		2000	○		○	○
193	東亜同文書院中国大調 査旅行の研究		藤田佳久	愛知大学文学会叢書 5	2000			○	○
194	東亜同文会・中国・政 治改革		邱榮裕		2001		○		
195	東亜同文書院大旅行研 究		薄井由		2001		○		○
196	東亜同文会と中国：近 代日本における対外理 念とその実践		翟新		2001	○		○	○
197	中国を記録する		藤田佳久	東亜同文書院・中国 調査旅行記録第4巻	2002			○	○
198	中国年鑑	復刻版(日本 図書センター)	東亜同文會調査 編纂部		2004-	○			
199	東亜同文会東亜同文書 院阿片資料集成	CD-ROM版	谷光隆		2005			○	○
200	近代中国与世界	全3巻	中国社会科学院 近代史研究所		2005			○	○
201	梁启超与近代中国社会 文化		李喜所		2005			○	○

No.	書名	巻号	著者	シリーズ名	出版年	所 蔵 館			
						台湾大学	国立台湾 図書館	中央研究 院	愛知大学
202	踏破録	1908年の復刻	東亜同文書院 第5期生	東亜同文書院大旅行 誌1	2006			○	○
203	禹域鴻爪	1909年の復刻	東亜同文書院 第6期生	東亜同文書院大旅行 誌2	2006			○	○
204	一日一信	1910年の復刻	東亜同文書院 第7期生	東亜同文書院大旅行 誌3	2006			○	○
205	旅行記念誌	1911年の復刻	東亜同文書院 第8期生	東亜同文書院大旅行 誌4	2006			○	○
206	孤帆雙蹄	1912年の復刻	東亜同文書院 第9期生	東亜同文書院大旅行 誌5	2006			○	○
207	樂此行	1913年の復刻	東亜同文書院 第10期生	東亜同文書院大旅行 誌6	2006			○	○
208	沐雨櫛風	1914年の復刻	東亜同文書院 第11期生	東亜同文書院大旅行 誌7	2006			○	○
209	同舟渡江	1915年の復刻	東亜同文書院 第12期生	東亜同文書院大旅行 誌8	2006			○	○
210	暮雲曉色	1916年の復刻	東亜同文書院 第13期生	東亜同文書院大旅行 誌9	2006			○	○
211	風餐雨宿	1917年の復刻	東亜同文書院 第14期生	東亜同文書院大旅行 誌10	2006			○	○
212	利涉大川	1918年の復刻	東亜同文書院 第15期生	東亜同文書院大旅行 誌11	2006			○	○
213	虎風龍雲	1919年の復刻	東亜同文書院 第16期生	東亜同文書院大旅行 誌12	2006			○	○
214	粵射臨游	1921年の復刻	東亜同文書院 第18期生	東亜同文書院大旅行 誌13	2006			○	○
215	虎穴龍頰	1922年の復刻	東亜同文書院 第19期生	東亜同文書院大旅行 誌14	2006			○	○
216	金聲玉振	1923年の復刻	東亜同文書院 第20期生	東亜同文書院大旅行 誌15	2006			○	○
217	彩雲光燿	1924年の復刻	東亜同文書院 第21期生	東亜同文書院大旅行 誌16	2006			○	○
218	乘雲騎月	1926年の復刻	東亜同文書院 第22期生	東亜同文書院大旅行 誌17	2006			○	○
219	黃塵行	1927年の復刻	東亜同文書院 第23期生	東亜同文書院大旅行 誌18	2006			○	○
220	漢華	1928年の復刻	東亜同文書院 第24期生	東亜同文書院大旅行 誌19	2006			○	○
221	線を描く	1929年の復刻	東亜同文書院 第25期生	東亜同文書院大旅行 誌20	2006			○	○
222	足跡	1930年の復刻	東亜同文書院 第26期生	東亜同文書院大旅行 誌21	2006			○	○
223	東南西北	1931年の復刻	東亜同文書院 第27期生	東亜同文書院大旅行 誌22	2006			○	○
224	千山萬里	1932年の復刻	東亜同文書院 第28期生	東亜同文書院大旅行 誌23	2006			○	○
225	北斗之光	1933年の復刻	東亜同文書院 第29期生	東亜同文書院大旅行 誌24	2006			○	○
226	匪細匪の礎	1934年の復刻	東亜同文書院 第30期生	東亜同文書院大旅行 誌25	2006			○	○
227	出處征雁	1935年の復刻	東亜同文書院 第31期生	東亜同文書院大旅行 誌26	2006			○	○
228	翔陽譜	1936年の復刻	東亜同文書院 第32期生	東亜同文書院大旅行 誌27	2006			○	○

No.	書名	巻号	著者	シリーズ名	出版年	所蔵館			
						台湾大学	国立台湾 図書館	中央研究 院	愛知大学
229	南腔北調	1937年の復刻	東亜同文書院 第33期生	東亜同文書院大旅行 誌28	2006			○	○
230	嵐吹け吹け	1938年の復刻	東亜同文書院 第34期生	東亜同文書院大旅行 誌29	2006			○	○
231	靖匪行	1939年の復刻	東亜同文書院 第35期生	東亜同文書院大旅行 誌30	2006			○	○
232	大旅行紀	1940年の復刻	東亜同文書院 第36期生	東亜同文書院大旅行 誌31	2006			○	○
233	大陸廻路	1942年の復刻	東亜同文書院 第38,39期生	東亜同文書院大旅行 誌32	2006			○	○
234	大陸紀行	1943年の復刻	東亜同文書院 第40期生	東亜同文書院大旅行 誌33	2006			○	○